

婦人会だより

<3月24日(日) 32名出席>

- ▶ 委員会報告
- ▶ 復活祭前日の大掃除とイースターの卵作りを4月6日(土)10時AMより
- ▶ 婦人会遠足  
5月16日(木)に行います。  
参加希望者はお申し込み下さい。
- ▶ バザー関係の御寄付のお願い  
雑巾をつくりますので新品のタオルを御寄付下さい。  
自主製作品または新品のものでも結構です  
サララップの芯(芯のみです)
- ▶ バザー奉仕日: 4月3日(水) 4月15日(月)  
次回当番C地区です。宜しくお願いします。  
以上。

ハイキング箱根駒ヶ岳 (1372m)

期日 5月11日(土) 雨天中止  
集合 JR戸塚駅2階改札口 7:30集合  
コース JR小田原駅バス ⇒ 駒ヶ岳登山口 ⇒ 駒ヶ岳山頂 ⇒ 神山 ⇒ 大涌谷 ⇒ 箱根湯本駅  
歩行時間 約2時間30分  
持物 弁当、水筒、雨具、ハイキングシューズ又は登山靴  
交通費 各自負担 約4,000円  
解散 箱根湯本駅 PM 4:00  
申込 5月5日(日)まで  
担当 壮年会 山田 Tel 801-0046  
その他 ケーブルカーを使いますので楽に登れます。



第213回

カトリック中和田教会  
広報委員会発行  
泉区 中田町 2701  
Tel. (045) 803-6141  
1996年 4月6日

今月の予定  
復活の主日 4月7日  
委員会 4月14日  
堅信式 4月28日  
サロン 4月14日  
レジオ 4月12,19,26日



模索の冊(上)

山崎 正俊

目に見えている幻影、それに意味を与えている指導者たちの立場においての、彼らの自己正当化の型(こじつけられた鑄型)に押し込まれたものを、真実のものと思い誤らされたところから出発させられた偽物のワクのうちで生きることを、その良心に照らされたものとして、たとえば、平均寿命のうちでととのえられたもの、(これからの残りの年月に延長される点々としてつなぎあわせようとしている、いま感じているものうちにある足りないものを気付こうとしていない、認識力の片寄りによる)想像力をそのままに、大切にしている思い込みが、ことの真実のカケラさえ知らぬままに、わかっているつもりで未来を指してしまう。

まことの教え——真(シン)を示すものへの道を行く教えを(そぐわないものとして受け付けないような)「いびつなものを真のものとして残すもの」になりさがっておる。それまでの傷は、そのほとんどが、本人が受けるだけであったのに、こんどは、その子孫のすべてに、より大きなものとして伝えられてゆくものであることを気付けないから、その深さが考えられなかったの、その重さと哀しみが癒されないままになったのだ。

権力者たちは、自己の力を誇ってノサバリつづけたいので、まことのものは知らさないように、眼のまえには多くの喜びのミナモトをチラツカサセ、味方にさえも、ことの真相を覆い隠すことに智慧をしぼることになる。(ひよっとしたら、本人たち自身にも、その思い違いをしたままの時はずづく)

これは、真(シン)なるものを究めようとして誠実にとりくんでいるつもりで、猪突などしているから、まったく見通しさえたてられぬ混迷のうちに、ますます深く捕らわれるといった冥界に住む者にされてのことか。

それは、新たに指導権を手にした者は、より強力で巧みなゴマカシの手が使えるはずだから、多くの者がそれに疑いをもち始めるまでに(一人の個人的なこの世での平均寿命が尽きるよりいっくらか長めに)強力な者であるならば、その座はゆらがないだろうから、キリストさまがこの世から去られたあとにも生きていた、あのファリザイ派がそうであったように、ノサバリ続けられ得ることにきまっていないか。有り難いことに、こんどばかりは安泰だろうと思うのが普通なのだ。

だから、昔からの指導者たちの息(イキ)を受けた者などの思うがままに引き回されて、どうしようもなくうろろする。これでは、古代の戦いの果と、さきほどの戦争の傷との相異もわからず、したがって、何んの解決もその緒に着けずに、その暗さはいっそう深まり、脱け出られるところからは遠のく方へと急ぎつづけることになり、これが何んの進展もないことの原因ではないか。

(付) 1. 二年ほど以前のことがあったか、頭の右うしろのほうを打って意識を失ったりしたそのところに、この頃になって痛みを感じている。そのせい、集中力や理解力らしいものが、いっくらか甦ったらしい。

その受けた傷は、その本人だけでなく、その血肉を受け継ぐ者のゆがみが、以前とは質的にさえず想もつかぬものになっているのを知らぬ者でありつづけることになる。

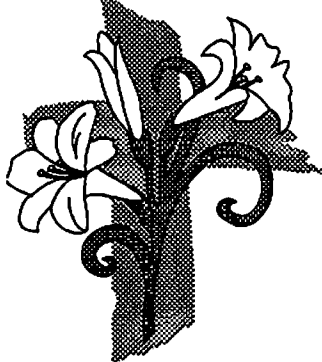
お知らせ

- \* 洗礼 3月2日 ヨゼフ 窪田 春雄 泉区下飯田町970  
マリア 窪田 とき Tel. (803)6440
- 3月26日 ペトロ 井上 英次
- 3月30日 マリア 石崎 博美
- \* 御逝去 3月26日 ペトロ 井上 英次
- \* 初聖体 3月31日 フランシスコ・アシジ 井上 潤
- \* 転入 2月 マリア 植田 敦子  
相模原市光ヶ丘3-31-15ホワイトハイツ103

ミサ 当番表 (96年4月、5月)

月/日	主日	朗読、奉納	備考	オルガ
4/7	復活の主日	富田	壮年会	森田
4/14	復活節第二主	青年会	青年会	大宮
4/21	復活節第三	婦人会 C地区	婦人会	岩 淵
4/28	復活節第四主	小野寺	壮年会	石 川
5/5	復活節第五主	宮 崎	壮年会	森 田
5/12	復活節第六主	青年会	青年会	大 宮
5/19	主の昇天	婦人会 D地区	婦人会	岩 淵
5/26	聖霊降臨の主	岩 淵	壮年会	石 川

※当番の方は10分前には集合して下さい。  
※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。  
(萩原: Tel. 802-6258)





# 心的外傷後ストレス障害

上野 厚

最近、新聞やテレビのマスコミで『心的外傷後ストレス障害』という用語が盛んに使われ出したことにお気づきの方が多いと思います。

この用語は精神医学分野の病名であり、突然の災害や犯罪(事故)の被害にあつて『強い恐怖』、『驚愕』や『絶望』を体験した後しばらく経ってから現れる精神的な反応で、不安、不眠、悪夢、幻覚、無気力感などに悩まされる症状が1ヶ月以上も続くものを指します。適切な治療を受けない限り、この症状は数年間も、時には生涯に亘って続くこともあるとされています。

誤解のないように申し添えておきますと、この症状は“人が、通常、体験する範囲を越えた心理的に苦痛な出来事”からくるものとされています。したがって、家族や仕事のことが心配で最近どうも良く眠れない、夜中に目覚めることがあるといった類いのことは、単なる悩みごと起因するものであり、この“障害”のような病的なものではありません。

もうお気づきの通り、最近この用語がマスコミに使われ出したのは、昨年の阪神大震災や地下鉄サリン事件の被災者、被害者中の多くの人達がこの症状を訴えるようになったからであります。犯罪の被害者に限って言うと、特に、殺人事件やひき逃げ死亡事故被害者の遺族、暴力犯罪や性的犯罪被害者にこの“障害”は顕著に認められます。

会社からの帰宅途中の娘さんが全く見知らぬ男に殺されてしまった、成る地方の老夫婦の例を納介します。

“老後の面倒を見てくれる予定のA子さんを失い、夫婦はショックで「どうして娘が殺されなければならないのか」、「見知らぬの人に」、「これから、老後をどうして生きていけばいいのか」など混乱状態に陥る。次女夫婦との同居を考え東京にも行ったが、とても住めそうに思えず地方での生活に戻った。

父親のBさんは事件後、「仕事に張り合いがなくなった」、「ボーッとすることが多くなった」、「娘と同年代の人を見ると娘を思い出して涙ぐんでしまう」、「テレビで事件ものをやっていたら消してしまう」等の状態になり事件後2年経っても同じ状態である。そして「生きがいなくなった」、「将来がなくなった」という。母親のCさんは情緒不安定となり、最近やっと落ち着いてきたが、それでも朝夕仏壇で泣いている日々がまだ続いている。”

この“障害”は、突然の災害や犯罪(事故)を体験すると誰にでも起こり得るものなのです。アメリカには、犯罪被害者や被災者を物的・心理的に支援する全国的規模の『全米被害者援助機構』というボランティア団体があります。このボランティア向けのテキストによれば、この“障害”は個人のく正常な反応>であると言っており、次のような例を紹介しています。

“1931年12月12日、ウィンストン・チャーチル(筆者注:年配の方は良く御存知の第二次世界大戦前後にかけ支のイギリスの名宰相であり油絵も描いた人で、日本でもこの人の名をとったチャーチル会という絵画を趣味とする有名人の会があった)は、ニューヨークに滞在していた。

その夜、或る知人から夕食に招待されて5番街の知人宅前までタクシーで来て下りたところを、時速30マイル以上を出していた車にひかれてしまった。何ヤードか引きずられ道に投げ出されて顔から出血した。病院に運び込まれたが、幸いに軽症で回復は早く、チャーチル夫妻は新年をバハマで迎えた。

しかし、事故のショックはここにきて起こり、彼は重度の抑うつ(筆者注:悲哀感を持つたり、悲観的気分状態になったり、意欲が減退したりして落胆し、意欲が減退したり、不安感に襲われたり、ひどくなると自殺を考えたりする)に襲われた。1月3日の日記に、彼は「活力はゆっくりとしか回復しなかった。」と書いている。それから5日後に神経的な反応が起こり、彼は「中力の重度の欠如と、国の内外に山積する課題に対して、政治家としての自分が不釣合だ」という強い感情にとりつかれたのである。

彼は看護婦に付き添われ、夜は鎮静剤を用いて不眠と戦った。油絵のイーゼルも彼を引き付けなかった。息子への手紙で「絵の具を開ける気だしない。この島の回りの海は青と緑と紫の美しい色合いに輝いているというのに。」と記している。妻のクレメンツさんも息子への手紙でこう書いている、「彼は恐ろしい怪我から、もう精神的には完全に回復することはないだろうと考えているのです。」と。

そして、このテキストは、“こういうことは誰にでも起こることである。世界の指導者にも、あなたの隣人にも”と言っています。

さて、今日、犯罪は地球的規模で増加しておりますし、自動車や航空機の交通機関の発達により便利になった反面事故に遭う確率も高くなっています。また、わが国は地震国でもあり何時災害被災者となるかも知れません。不運にも自らや身近かな人が被害者や被災者になった際には、“心”の問題にも目を向けることが大切なのではないのでしょうか。



## 委員会だより

<3月3日(日) 13名出席>

### 【1】財務報告 (甲斐委員、福島委員)

- 1) 一般会計決算報告 支出内容を本部報告書式に一部手直し
- 2) 信徒会計決算報告を一般会計、建設会計、愛の献金と同様に毎月報告する

### 【2】お知らせコーナー

- 1) 2/25AM9:00御ミサ後委員長がお知らせとお願いをスピーチ
  - ① 焼却炉購入、聖歌収納戸棚購入、コピー機リース
  - ② 自家用車の登録、お名前を書いた紙をフロントに、中田町住所変更届を事務所へ提出
- 2) 2/18聖歌の集い 於鍛冶ヶ谷教会 石井委員報告。尚、当日悪天候で予定出席者不足の為、開催費一部負担要。委員会承認

### 【3】お話し合いコーナー

- 1) 壮年会会長  
10/27バザー開催。壮年会よりバザー委員2名選出の予定
- 2) 婦人会会長  
2/18婦人会席上にて信徒会計よりコピー機購入と発表になっているのにリースと変更になった件につき質問。信徒総会でも二者択一の説明があったが委員会にて相談の結果リースの方がメリットがありリース案を採用した旨説明あり。
- 3) 4/7ご復活お祝いについて  
サロン形式とする  
会場:お聖堂。テーブルの配列は従来と違って真ん中に用意する  
祝宴のプログラム、司会:井上委員  
予算:卵代;5,000 飲食代;55,000 計60,000  
婦人会、壮年会の御協力をお願いします。(後日壮年会、婦人会より各1万円御寄付頂きました。有り難うございました。)
- 4) 4/28堅信式 司教様を囲んでパーティー(臨時委員会開催の予定)  
会場:お聖堂。テーブルの配列は検討。  
祝宴のプログラムと司会:井上委員  
寿司業者に出店して貰う  
予算:飲食費;130,000 司教様謝礼;50,000  
お土産;10,000 計190,000
- 5) 第五地区宣教委員会(2/25於大船教会)  
甲斐、丸田委員出席 甲斐委員報告  
中和田教会青少年問題担当委員(小野寺副委員長、鈴木富雄、小山康正、岩崎好愛、山本照子の五氏)は従来通りお願いします。

青少年に広報「なかわだ」を郵送するとの意見が出ているが、興味を持ってもらう内容など、別途検討が必要。

- 6) 教会内老朽カ所修理  
店橋工務店より約200万円の見積りを得、検討の結果3/10に発注。(お聖堂床、天井張替え、トイレ壁塗装、新集会室外部塗装、等)
- 7) 葬儀のしおり、仮祭壇カバー用意ができました。萩原委員より報告  
葬儀のしおり 50冊 29,630円
- 8) FAXがあまり使われておらず、基本料がもったいないとの意見もあったが当面このままとする。
- 9) 山崎神父様5/24~26日本鉄道カトリックの会御出張  
5/26 聖霊降臨ごミサ 河野神父様(二俣川)
- 10) 平瀬委員より“聖歌の練習をしましょう”との呼びかけあり。

以上

## 壮年会だより

<3月24日(日) 12名出席>

### >3月委員会報告

>一粒会の件 (小谷さんより話しあり)

>バザーの件

今年も10月にバザーを行う。  
壮年会よりバザー委員2名選出。昨年度の橋さんと鈴木さんに今年度もお願いした。

>4月ハイキングの件

日程は5月11日、箱根駒ヶ岳で、登りはケーブルカーを利用。詳細については、山田さんに計画してもらう。

>その他

- ・コピー機をリースした。
- ・車の登録簿に再登録して欲しい。
- ・司教様がいらっしゃる前に天井と床の補修を行う。
- ・復活祭(4/7)のお茶出しを壮年会にておこなう。コーヒーは鈴木さん。
- ・4月6日10時AMより大掃除を行う。
- ・宣教委員会、青少年問題等につき話し合った。

以上

あなたの車についていますか?

